

【第4章】 計画の基本理念と基本目標

1. 基本理念

伊勢市総合計画（第3次）前期基本計画において、福祉分野がめざす「誰もが住みなれた地域でいきいきと暮らし続けられるまち」の実現に向け、計画の基本理念は次のとおりとします。

“ みんなの絆と地域の力で育む心豊かなまち “
～つながる「こころ」とつながる「ところ」 みんなでつむぐ伊勢のまち～

2. 基本目標と重点項目

2期にわたる計画の策定・推進において、公と地域の担い手の連携・協力体制の構築、取り組みの実施を通じ、みんなの力で多様化する生活課題を克服し、さらに、新たな課題にも対応していくこととしました。

しかし、人口減少や高齢化が進み、身近な地域を支える担い手の確保がさらに困難になっていることが、住民意識調査の結果や地域懇談会での意見などから読み取ることができます。また、複合化した課題を抱え、相談や支援につながらないケースへの対応も急務となっています。

第3期の計画では、地域の中で支え、受け止めることのできる「しくみ」「場」「ひと」づくりを基本目標に掲げ、地域福祉を推進することとします。

◆基本目標1：みんなの課題を丸ごと受け止めるしくみづくり

… 重層的なセーフティネットを構築し、必要な時に必要な支援が届けられる環境を整える

◆基本目標2：みんなが参加できる共生の場づくり

… すべての人が地域の構成員として社会に参加できるよう、地域全体で居場所、支え合う体制をつくる

◆基本目標3：地域でつながるひとづくり

… 支える側、支えられる側を固定することなく、積極的に地域づくりに関われる人、つながる機能を確保する

3. 体系と推進目標

市や社会福祉協議会では、3つの基本目標、重点項目の推進のため、個々に目標と取り組みを設定し、地域の皆さんとともに考え、できることから挑戦していく試みを実践します。